



▲きれいな花でお出迎え♪

の のいちふれあいセンター花植え
のいちふれあいセンターに彩りを

2月3日(木)更生保護女性会野市支部のお手伝いのもと、のいちふれあいセンターのプランターに花が植えられました。今回植えた花はパンジーとピオラの2種類。

当日はプランターの土の入れ替えなど力仕事から始まり、色鮮やかな花が次々と植えられました。花植えが終わると、見違えるほど華やかになり、気持ちよくおもてなしできる正面玄関となりました。



新 山田高校1年生によるまちづくり提言
新しく柔らかな発想が市政のヒントに

2月9日(水)山田高校1年生による、まちづくり提言が行われました。当初は浜田市長と対面し直接提言する予定でしたが、新型コロナの感染状況を考慮しWeb開催となりました。

今年「香南市のアフターコロナを見据えた観光施策」をテーマに香南市の魅力について調べ、それぞれが発見した課題を解消する施策を提言しました。4つの班から発表があり、若い感性ならではのアイデアに、市長を始め審査員はしっかりと聴き入っていました。



▲画面越しでも気持ちが伝わってくる提言でした

コ 第43回香我美町駅伝大会
コロナにも寒さにも負けない走り!

令和4年1月9日(日)、第43回香我美町駅伝大会が開催されました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、今年の開催時期には感染状況も落ち着いており、無事開催することができました。

当日は晴れ渡る青空の下、計21チームが元気に走りました。沿道には地元の人たちが駆け付け選手を応援。選手の背中を押してくれました。優勝は「クロちゃん一族」でした。



▲目指せ! ベストタイム!!

正 新正凧揚げ大会
月の風物詩

1月9日(日)、野市ふれあい広場にて新正凧揚げ大会が開催されました。当日は天候に恵まれ、絶好の凧揚げ日和。午前中は審査対象となる手作りの凧を、子どもたちが楽しそうに揚げていました。その後は、恒例の「とぼし」。凧からお菓子などの引換券が落とされると、観客たちは一斉に走りだし凧と引換券を追っていました。その後、風等の条件も揃い16畳凧揚げに挑戦。観客が見守る中、ロープを引っ張り、大空へ高く舞い上がりました。



▲空から落ちてくる引換券。取るのが難しい...!



今 百手祭
今年もいい年になりますように

1月14日(金)・15日(土)の両日、夜須八幡宮で百手祭が行われました。この祭事は高知県の三大弓祭りのひとつで、400年以上の歴史をもつ香南市の無形民俗文化財です。

射手は氏子の12人。28メートル先にある的に2日間で約1,600本の矢を放ちました。

今年も感染症対策のため、参加者はマスクを着用しての開催。射手は、五穀豊穰や家内安全などを願って矢を放ち、静けさの中に乾いた矢の音が響きました。



▲今年から射手の衣装も新しくなりました♪

歴 文化財防火デー「安岡家住宅」消火訓練
歴史ある文化を、これからも守るために

昭和24年1月26日に法隆寺金堂壁画が焼損したことで、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定め、文化財に対する防火・防災意識の高揚が図られています。それに合わせ、市では1月16日(日)香我美町安岡家住宅にて、香南市消防団香我美第1・第2分団による消火訓練を行いました。

「安岡家住宅で火災発生」との連絡を受けた消防団員は素早く現場へ出動しました。火元を確認した団員たちは連携して放水準備を行い、迅速に対応。火元に見立てた地点へ放水を行いました。



▲火元へ向かって放水開始!

香南市表彰

香南市表彰は、産業・教育・文化・福祉などの分野で、市の発展に貢献された方を表彰します。その中で「まちづくり功労賞」は、良好な地域社会の維持および形成に顕著な功績があった人に授与されます。



香南市表彰
「まちづくり功労賞」
黒岩靖夫さん
くろいわ やすお
香我美町

平成14年に設立された西川地区まちづくり協議会において、設立時から協議会長を務めており、町内では三世代交流夏祭りや運動会を開催するなど、19年にわたって地域の活性化に尽力されました。また、「西川地区集落活動センター」では、平成25年の設立当初から会長を務め、メンバーとともに特産品の山北みかんを使ったジャムを販売。ほかに、「西川花公園」を舞台にした花祭りにも取り組み、開催期間中には約2万人が訪れる観光スポットとして県外にも認知されるなど、地域の活性化のみならず本市への交流人口拡大にも寄与しています。